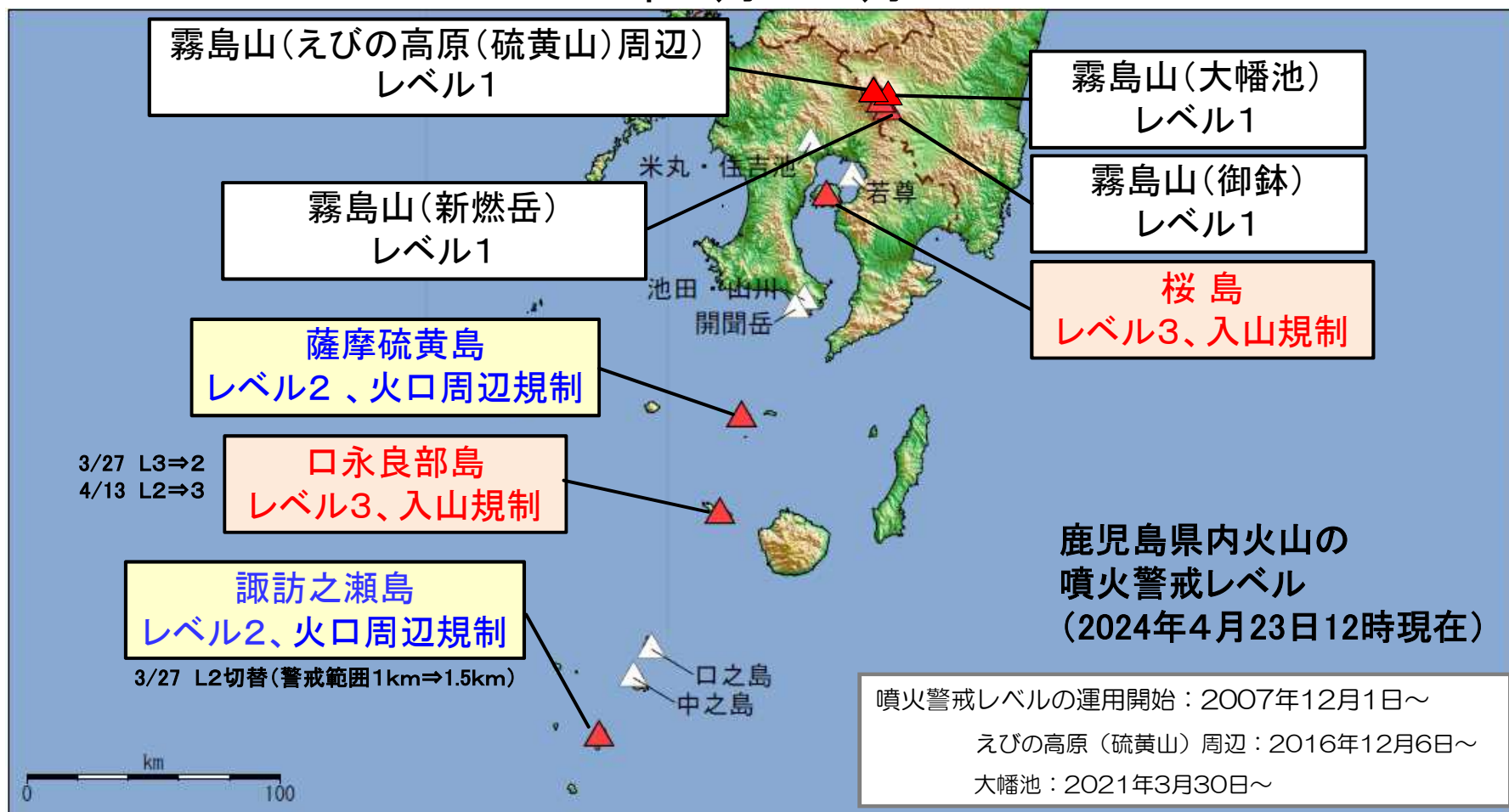


鹿児島県の火山活動概況

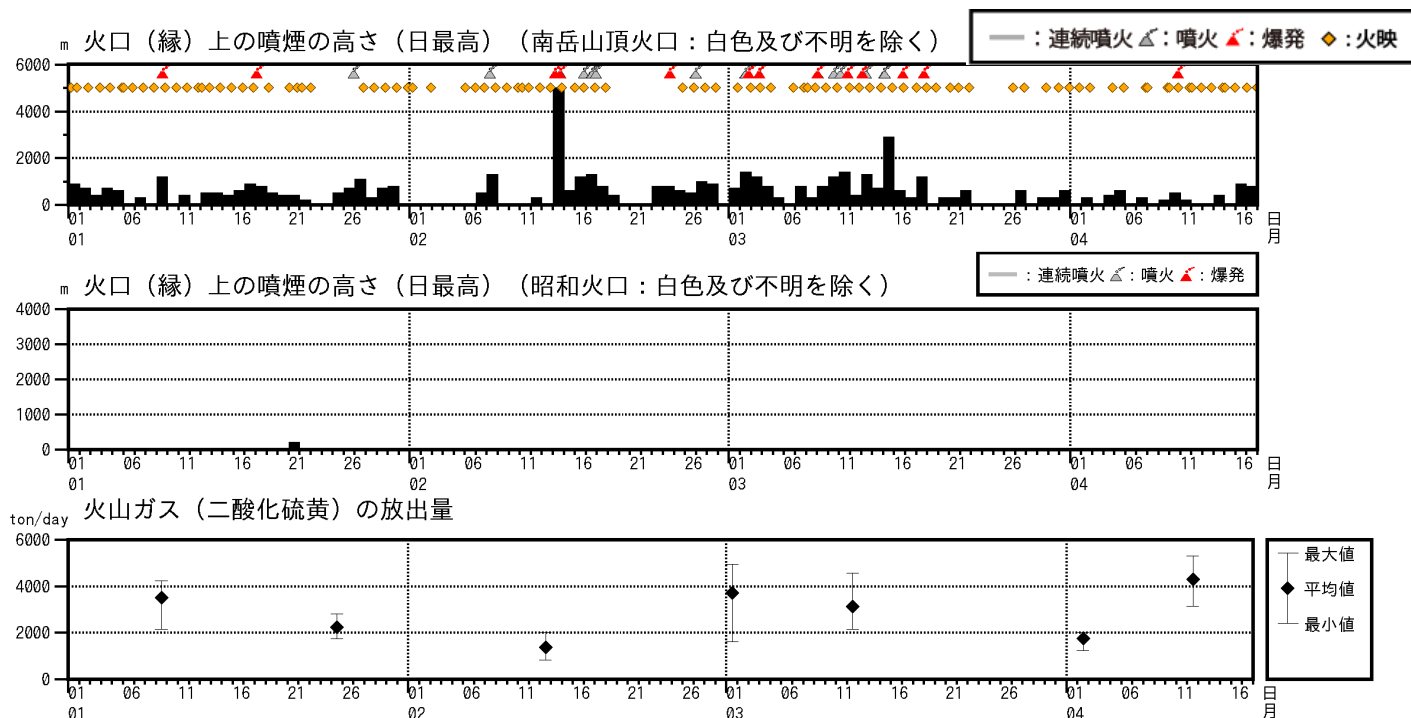
2024年3月～4月23日



桜島 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね2km
(2022年7月27日20時00分発表)

3月以降の主な状況	
活動評価	始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態であり、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態で経過していることから、今後噴火活動が再び活発化すると考えられる。
噴火活動	[南岳山頂火口] 噴火活動が継続 噴火回数 4月(17日まで): 1回（爆発: 1回） 3月: 13回（うち爆発: 7回） 3月15日04時50分の噴火：噴煙は火口縁上2900mまで上昇 [昭和火口]（ごく小規模含め）噴火は発生せず
火山ガス	二酸化硫黄の放出量は概ね多い状態 1,700～4,300トン/日（3月～4月17日）



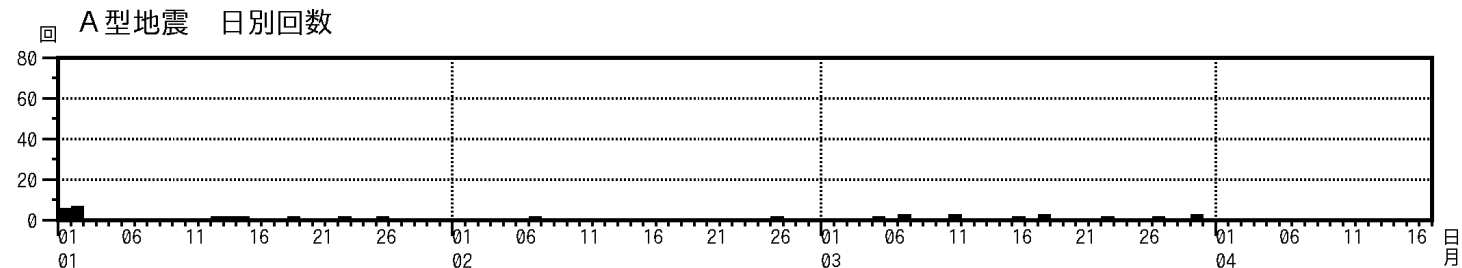
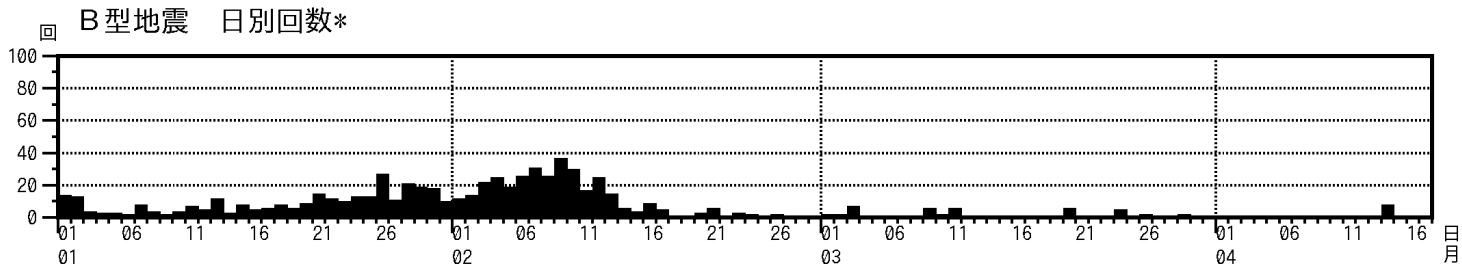
桜島 噴煙・火山ガス活動推移(2024年1月～4月17日)

桜島 噴火警戒レベル3 (入山規制)

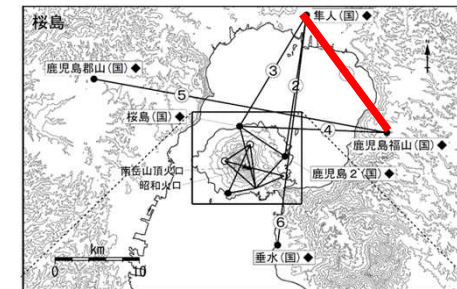
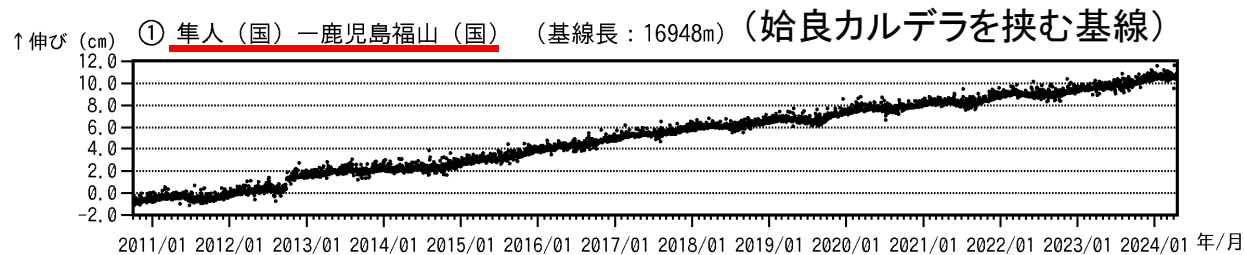
警戒範囲: 火口から概ね2km
(2022年7月27日20時00分発表)

3月以降の主な状況

震動現象	[地震] 少ない状態 [微動] 主に噴火に伴って時々発生
地殻変動	[GNSS] 始良カルデラの地下深部の膨張を示す緩やかな伸び [傾斜・伸縮] 特段の変化は認められない



桜島 地震活動推移 (2024年1月~4月17日)



桜島 GNSS基線長変化図(2010年10月~2024年4月17日)

口永良部島 噴火警戒レベル3(入山規制)

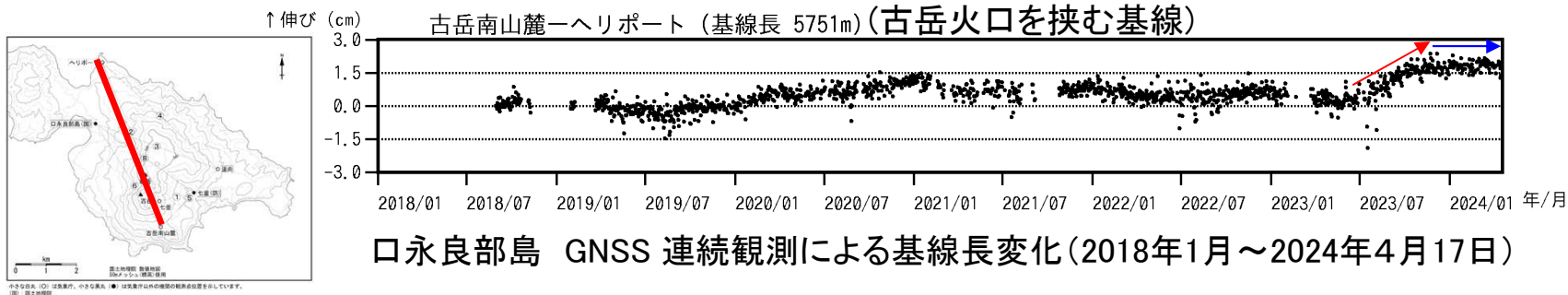
警戒範囲: 火口から概ね2km
(2024年4月13日12時35分発表)

3月以降の主な状況

活動評価	火山活動が高まった状態
震動現象	[地震] 4月に入り主に古岳火口付近の浅いところを震源とする火山性地震が多い状態、振幅のやや大きな火山性地震も発生。新岳火口付近でも地震活動が継続。 [微動] なし
地殻変動	[GNSS] 2023年6月下旬頃から11月頃にかけて古岳付近の膨張を示す変動を観測、現在も膨張した状態を維持している。



口永良部島 火山性地震日別回数・10日間回数(2024年1月～2024年4月21日)



口永良部島 噴火警戒レベル3 (入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね2km
(2024年4月13日12時35分発表)

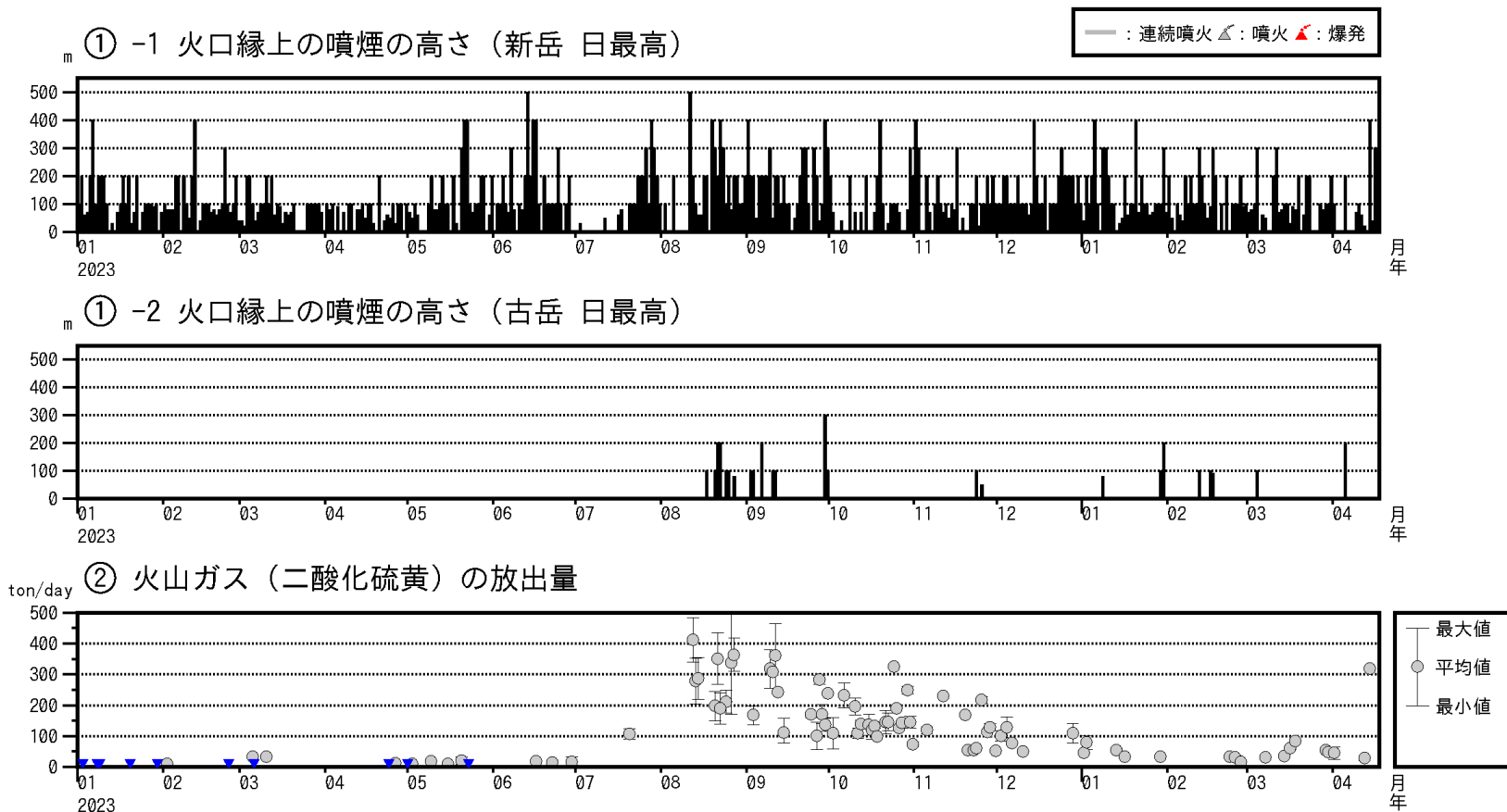
3月以降の主な状況

噴煙活動

[新岳火口] 白色の噴煙を観測 最高400m
[古岳火口] 時折白色の噴煙を観測

火山ガス

二酸化硫黄の放出量は1月以降100トン未満と少ない状態で推移していたが、4/14は300トンと増加し、やや多い状態。



口永良部島 活動経過図 (2023年1月～2024年4月17日)

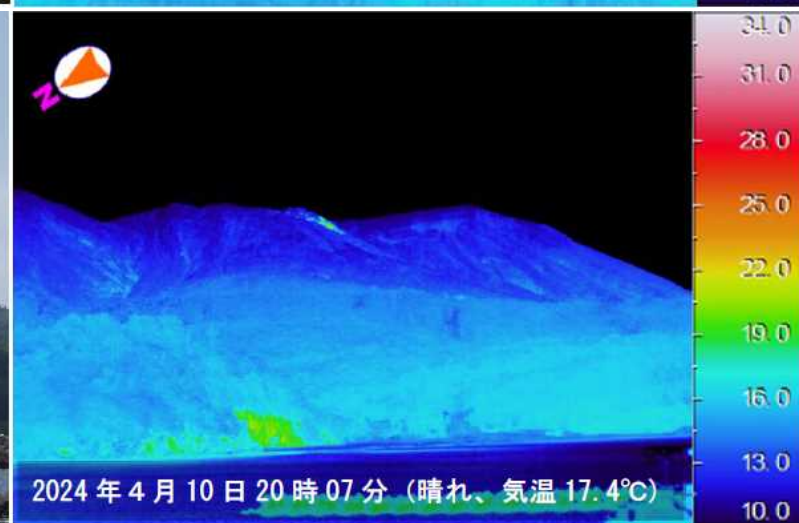
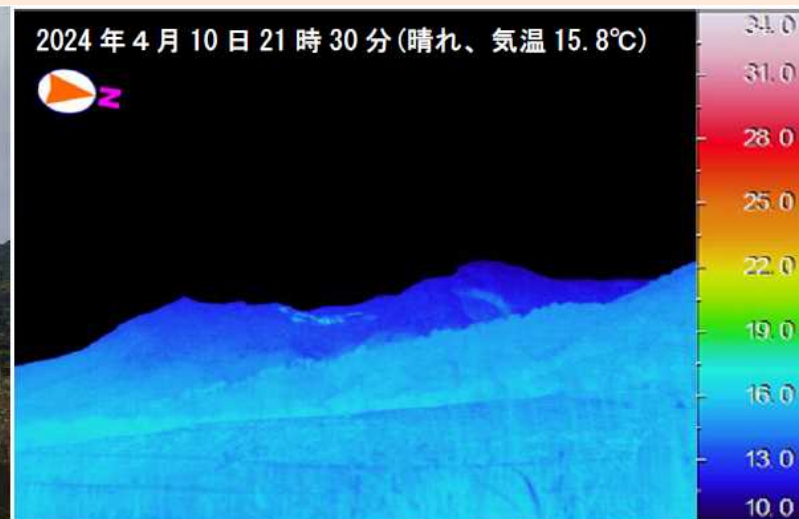
口永良部島 噴火警戒レベル3(入山規制) (2024年4月13日12時35分発表)

警戒範囲: 火口から概ね2km

4月10日 直近の現地調査の状況

現地調査

[熱観測] 古岳火口付近及び新岳火口西側割れ目付近に地熱域を確認。
地熱域の状況に特段の変化は認められない。



口永良部島 上図: 古岳周辺の状況 下図: 新岳火口及び新岳火口西側割れ目付近の状況